

支えあい、ともに生きる安心と健康のまちづくり

第2次 奈良市地域福祉計画



平成25年3月

奈良市

はじめに



本市では平成18年7月に、市民の皆さんと、職員等が話し合う「福祉のまちづくりを考える集い（住民座談会）」などを実施し、「支えあい、ともに生きる 安心と健康のまちづくり」をめざし、公民協働で第1次奈良市地域福祉計画を策定いたしました。

この第1次計画に基づき、これまで地域での支えあい・助け合いの必要性についての啓発や、地域福祉を推進していくうえでの基盤整備を進めてまいりました。

しかし近年では、核家族化が一段と進行し、高齢者世帯が増加する中、地域住民同士のつながりの希薄化などにより地域での問題解決が難しくなっており、さらに高齢者の孤立死、虐待などが新たな社会問題となってきました。

こうしたことから、第1次奈良市地域福祉計画の成果と課題を踏まえ、必要な見直しを行う中で、新たな社会問題などを含めたさまざまな問題解消に向け、より効果的・効率的な地域福祉の推進を図るため、第2次奈良市地域福祉計画を策定したところであります。

今後はこの第2次計画に基づき、社会福祉協議会・関係団体と行政の連携をさらに強化する中で地域福祉の向上に取組み、計画の基本とする理念である「支えあい、ともに生きる 安心と健康のまちづくり」を目指してまいります。

本計画の推進にあたりましては、市民の皆様をはじめ、地域で活動をされておられる関係団体と行政が連携して、参加と協働により各事業の実施に取り組むことが必要であると考えており、今後とも、皆様方の福祉推進へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたりまして、広く市民の皆様から貴重なご意見をいただきくとともに、奈良市社会福祉審議会、奈良市地域福祉推進会議の委員の方々には、熱心にご審議いただきました。ご協力をいただきましたすべての皆様に心からお礼を申し上げます。

平成25年3月

奈良市長

仲川 げん

— 目 次 —

はじめに

第1章 奈良市の目指す地域福祉計画

1. 第1次地域福祉計画を受けて	1
2. 地域福祉計画策定の趣旨	1
3. 計画の基本的な考え方	2
(1) 従来の「社会福祉」の視点から「地域福祉」の視点へ	2
(2) 計画策定の意味	3
4. 計画の位置付け	4
(1) 計画の法的根拠	4
(2) 奈良市第4次総合計画との関係	5
(3) 保健福祉分野における個別計画との関係	5
(4) 奈良市地域福祉活動計画(奈良市社会福祉協議会)との関係	5
5. 計画の期間	6

第2章 奈良市をめぐる状況

1. 奈良市の現状	7
(1) 人口構成などの変化	7
(2) 家族構成の変化	8
(3) 高齢者・児童のいる世帯の状況	9
(4) 主な社会福祉関係ニーズの状況	10
2. 奈良市の地域福祉の特徴	12
(1) 地域支援策の現状	12
(2) 地域福祉推進主体の状況とその見直し	12
3. 奈良市の現状と第1次計画の主要な取組み	12
(1) 行政の取組み	12
(2) 社会福祉協議会の取組み	15
(3) 地域福祉活動支援	15

第3章 地域福祉推進の共通理念と原則

1. 地域福祉推進の共通理念と目指す将来像	16
2. 地域福祉推進の原則	17

第4章 計画の基本方向と基本計画

1. 住民の地域福祉活動への参加を促進するしくみづくり	21
(1) 地域福祉活動の支援促進	21
(2) 小地域ネットワーク活動の促進	23
2. 保健福祉サービスを利用しやすくするしくみづくり	26
(1) 相談支援体制の充実	26
(2) 保健福祉サービス情報の充実	30
3. 質の高い保健福祉サービスを提供するしくみづくり	32
(1) 保健福祉サービスの質の向上	32
(2) 保健福祉サービス利用者の保護	34
4. 生活基盤の整備と社会参加を促進するしくみづくり	36
(1) バリアフリーの推進と交通手段の確保	36
5. 住み慣れた地域で安心していきいきとくらせるしくみづくり	38
(1) 女性・子ども・子育て支援の推進	38
(2) 高齢者・障がい者支援の推進	40
(3) ひきこもり・発達障がいなどへの対応	42
(4) 防犯・防災及び災害対策への取組み	44
6. 新たな生活課題に対応するしくみづくり	46
(1) 災害時の要援護者対策づくり	46

第5章 計画の推進

1. 計画の推進	48
2. 地域福祉計画の点検推進組織	48

具体的な取組み	50
---------	----

資料編	72
-----	----